

東日本大震災 復興・支援活動ニュースレター

カトリック仙台司教区・カリタスベース

発行・編集：仙台教区サポートセンター
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12
仙台教区サポートセンター
Tel.022-797-6643 Fax.022-797-6648
支援金振替口座：00170-5-95979
名義：カリタスジャパン
※通信欄に「東日本大震災」とご明記ください。

2020 年 4 月 16 日、新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言の対象が、感染者ゼロの岩手県を含め、全国へと拡大されました。各カリタスベースでは、活動の変更や制限を余儀なくされながらも、今できることを模索しつつ、活動を続けています。今回は、カリタス釜石とカリタス石巻ベースの様子をご紹介します。また、カリタス南相馬では、『『エール』をおくろう！』と題して、皆さんからの写真メッセージを募集しています。そして、カリタスジャパンでは、「新型コロナウイルス感染症緊急募金」の受付を開始しました。皆さんとまた元気に笑顔で過ごせる日が来るまで、共にこの困難を乗り越えられるように、ご支援・ご協力をお願いいたします。

最後に、この東日本大震災 復興・支援活動ニュースレターにつきましても、これまで 1 カ月に 1 回程度、定期発行しておりますが、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、不定期発行となる可能性がございます。ご理解いただけますようお願いいたします。

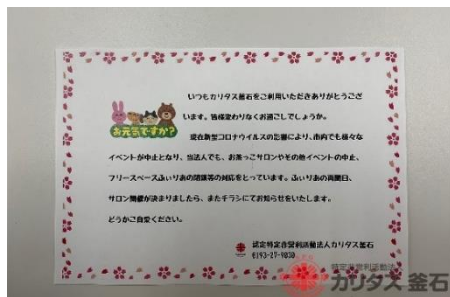
「今」できること。

特定非営利活動法人 カリタス釜石 久保 寛人

新型コロナウイルスの影響により、当法人も通常の活動ができない状況が続いています。これまでの対応として、ボランティアの受け入れ中止、フリースペース「ふいりあ」の閉鎖、仮設住宅、復興住宅でのサロン活動の中止、その他卓球大会や体操教室、料理教室といった定期的なイベントも中止と、まったく先が見えない状態が続いています。

3 月にスタッフミーティングを行い、今後の活動について話し合いました。結論としては「今できること、今だからできることをする」でした。

まずは、ふいりあの利用者、お茶っこサロンに参加いただいている住民のご自宅を訪問、または電話で様子を伺いました。近況やご自身の体調について皆さんお話をしてくださり、元気そうな様子にスタッフも一安心しました。



「会いたかった～！」「来てくれてうれしいよ！」と感謝の言葉もいただきました。お会いして感じたことは、皆さん話し相手を求めているということです。独居の方は、特にそうだと思います。これまで当たり前のように外出をして、当たり前のように人とのふれあいがあったのに、それができない現実に、寂しさや虚しさを抱えています。

話を聞いてあげることくらいしか私たちにはできませんが、それでも喜んでいただければ幸いです。(※4 月現在、新型コロナウイルスの感染リスクを減らす理由から訪問はしていません)。

お茶っこサロン等に参加いただく住民からは、「困っている方にお配りください」と、手作りの布マスクをご寄付いただき、独居の方へ優先的にお配りしました。



桜木町小川川沿いの桜



県立病院裏、甲子川沿いの桜

その他の活動では、市内を周り、仮設住宅団地跡地や桜を撮影し、SNS で配信しています。SNS に載せることで、会員の皆さまや釜石で活動してきた多くのボランティアの皆さまに、今の釜石を知ってもらいたいという思いから更新しています。記事を書くとレスポンスもあるので、次は何を載せたら良いか悩みながらの作業ですが、できる限り発信していきたいと思っています。

今、世界中に「見えない敵」が潜み、侵攻しています。どうか一刻も早くこの事態が収束することをお祈りいたします。収束した時にはまた、住民が集い、笑って過ごせる日々が続くことを願います。

皆さまもどうかご自愛ください。

仮設住宅団地の変化



甲子町の大松仮設住宅団地



現在はソーラーパネルが一面に設置されていた



鶴住居の田郷 C 仮設住宅団地



現在は更地となっていた



釜石市の仮設は 18 団地が残っており、36 戸 79 人が入居している（2020 年 3 月末現在）
仮設団地の解消に向けて、現在の団地数から集約される予定



これまでのつながりを絶やさぬように

カリタス石巻ベース 佐藤 光典

カリタス石巻ベースでは、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、一時的措置として、3月2日（月）にオープンスペースの閉鎖とボランティアの受け入れ停止を決めた。

オープンスペースを閉鎖するにあたり、利用されている方々へは、事前にベース入り口にお知らせを掲示した。また、お年寄りの利用も多いため、知らずに来られることを考えて、連絡先の分かる方へは、直接電話での連絡も行った。

オープンスペース閉鎖後のベーススタッフの活動は、ベース内では、ミシンと手縫いでマスク作りや、「お元気電話」と称した安否確認の電話を主に、ベース備品の整理や修理などを行った。ベース外での活動では、震災から9年が過ぎ、10年目を迎えた現在の東松島市、石巻市、女川町の復興状況の写真を撮りに行った。また、昨年2月より、以前仮設住宅に住んでいて、現在は復興公営住宅などに移り住んでいる方への定期的な戸別訪問を行っているが、コロナウイルス感染拡大により、今は直接お会いすることができないため、ベース利用者さんが編んだ毛糸の帽子やスタッフが作ったマスク、メッセージを書いたカード等をポストに投函している。



写真上：復興記念公園内にある JR 仙石線旧野蒜駅プラットホーム

写真下：高台に整備された現在の野蒜駅

ここで、毎日数人の方へ行っている「お元気電話」の内容をいくつか紹介したいと思う。

・電話をした日が、仙台の大学に通われている娘さんの卒業式だった方。話によると、4月より社会人になられるとのことだった。約7年前、ベースのお茶っこに来られていた時には、中学生だった娘さんについてよく話されていたことを思い出した。後日、また電話をしたところ、娘さんは、今は山形で研修中で、研修後は仙台での仕事が決まっているとうれしそうな声で話された。

・ある方は、自動車の免許更新に行かなければならないが、視力検査で不合格になるのでは…と心配で、何日も眠れないと話された。後日、電話をくださり「話を聞いてくれてありがとう～おかげさまで無事合格したよ～」とうれしそうな声で教えてくれた。

・オープンスペースの常連の方は、お年寄りのお母さんが道端で転んで、腕を負傷したため、毎日車で病院への送り迎えをされていて忙しいと話された。お母さんは、幸い大事に至らず、今は快復に向かっていると、後日電話で伝えてくださった。

・戸別訪問先の一人住まいのお年寄りの方は、先日ポスティングしてきた毛糸の帽子や手作りマスク、メッセージカードについて、「無事受け取ったよ～いつもありがとうね～。私ね、2か月前までは、近くの牡蠣小屋で牡蠣剥きをしていたんだけど、それもシーズンが終わり、今は、家にいる時は一人でテレビとお話しているんだよ～。カリタスさんはいつまでたっても忘れないでいてくれてありがとうね～」と涙声で話してくださった。



写真左：石巻市日和山公園からの景色

写真右：堤防や道路の災害工事が続けられている場所 工事完了予定は令和3年3月末

・「今朝（4月20日）の地震大丈夫だった？お元気でしたか？」そんな話から、あるお年寄りの方は、電話口にスタッフが代わる代わる出てお話をすると、「あら～皆さんの声が聞けて、本当にうれしい～！みんなでお茶のみにございん～」と喜ばれていた。

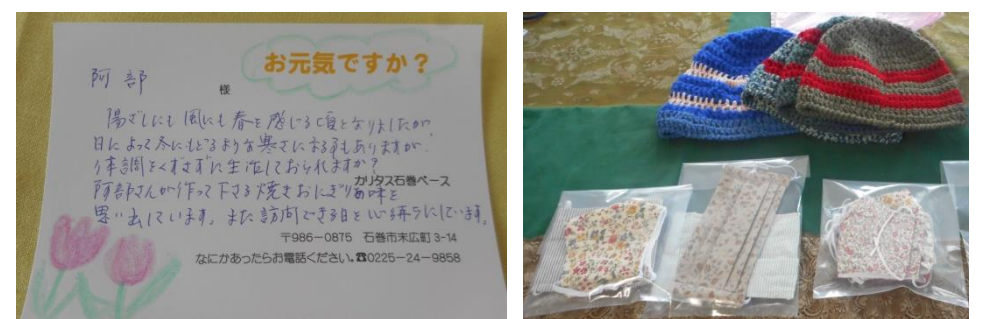
・朝、散歩に行こうかと支度していたところ、急に地震が起こり、びっくりして、久しぶりに身構えたと興奮気味に話された方は、時々近くに住むベースへもよく来られているおばあちゃんを呼んで、家でお茶のみをしているとのことだった。

・毛糸の帽子編みをされている方のお一人は、先週末に日和山の桜を見に行ってきたそうで、「とてもきれいで、良かったよ～。途中で、通称『楽天大好きくん』や、数名のベース利用者さんとも会い、皆さんとてもお元気そうだったよ」と教えてくださった。

これまでのベースのお茶会や戸別訪問では聞くことのできないお話など、「お元気電話」だと皆さんいろいろなことをお話ししてくださり、また聞くことができ、とてもうれしい。そして、オープンスペースが休止しても、利用者さん同士でお茶のみをしたり、連絡を取り合ったり、偶然会われた時にそれぞれの様子を気にかけて教えてくださったりと、オープンスペース以外でも互いに関係を築かれていることを知り、これまで活動を続けてきてよかったと、大変うれしく思い、安心した。また、自らベースに電話をかけてきてくださり、早くコロナが収束して、また前のようにみんなとおしゃべりしたり笑ったりして過ごしたいと言ってくれる方もいる。

4月に入り、さらなる感染拡大により、スタッフも一時在宅勤務となり、各自手作りマスクやイベントなどで使用する作品作り、お元気電話等の活動をしている。また、いつオープンスペースの活動を再開することができるのか不透明であり、戸別訪問もますます難しくなるおそれがあることから、個人情報の取り扱いに十分に注意しながら、お手紙や電話で関わりを持ち続けていける方のリストを作成するよう準備している。

一日も早い新型コロナウイルスの感染終息と、オープンスペースの利用者さん、戸別訪問先の皆さんとお会いできることを願っている。



戸別訪問の様子 メッセージや手作りの品を皆さん喜んでくださっている

新型コロナウイルス感染拡大によるカリタスペース ボランティア受け入れ一時停止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大を受け、2020年4月30日現在、すべてのカリタスペースにおいて、ボランティアの受け入れを一時停止しております。今後の再開につきましては、各ベースのホームページやブログ等をご確認ください。

また、ベースをはじめとしたお茶会や仮設住宅・復興住宅への訪問、戸別訪問といった人と直接会う活動も自粛しております。このような状況において、孤独感を強めている方もおられることから、各ベースでは、どのような形でのかわり続けられるのか、今、なにができるのかを日々話し合い、国や県からの自粛要請を考慮しつつ、できる活動を行っているところです。

震災から10年目に、未知のウイルスにより、また分断が生じてしまうおそれもある中、まずはお一人お一人の「いのち」を守るために何ができるのかを考え、活動を続けていきたいと思ひます。

これからもどうぞご支援・ご協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

現在、カリタス南相馬において、素敵な企画を行っておりますので、以下にご紹介させていただきます。

『エール』をおくろう！写真メッセージ募集のお知らせ

一般社団法人 カリタス南相馬

新型コロナウイルス感染が心配される中、カリタス南相馬を思い、ご心配いただき、ありがとうございます。カリタス南相馬では、感染拡大防止のため、3月からボランティアや現地案内など宿泊者の受け入れを中止しています。状況は日々変わっていますが、現在のところ、世界でも日本国内でも感染拡大が止む気配はなく、引き続き当分の間、ボランティア及び現地案内の方の来訪をお断りせざるをえません。どうかご理解くださいますようお願い申し上げます。なお、再開できる目処が立てば、ホームページなどでお知らせいたします。

現在、この地域のサロン活動は、和みサロン「真こころ」はじめ、ほぼすべて中止となっていますし、戸別訪問も難しくなっています。しかし、だからこそ、孤立しがちな方々ために、カリタス南相馬として可能な限り活動を継続していこうと考えております。

※真こころサロンは休止中ですが、「真こころ」さんには、手作りマスク作成の依頼があり、スタッフやシスターも各自持ち帰りでお手伝いをさせていただいています。

そこで、しばらくは南相馬に来られないボランティアの皆さんが、スタッフやシスターと共に、南相馬の皆さんのことを思い、心はつながっていることを表現したいと、『エール』をおくろう！という企画を考えました。皆さんから写真メッセージを送っていただき、カリタス南相馬のフェイスブック掲載、また印刷してメッセージを地域の方々にお渡ししたいと思っています。

ご賛同くださる方は、メッセージを書いた写真1枚をカリタス南相馬のメールに添付されるか郵送でお送りください。

皆さんの元気な顔を写していただきたいですが、顔なしでもかまいません。またメッセージは読めるようにハッキリと書いていただき、出身や名前、ニックネームなど記載してください。これまで南相馬に訪れたことのない方々も、ぜひ写真メッセージをお送りください。

【写真メッセージ送付先】

一般社団法人 カリタス南相馬

〒975-0006 福島県南相馬市原町区 橋本町 1-15-1

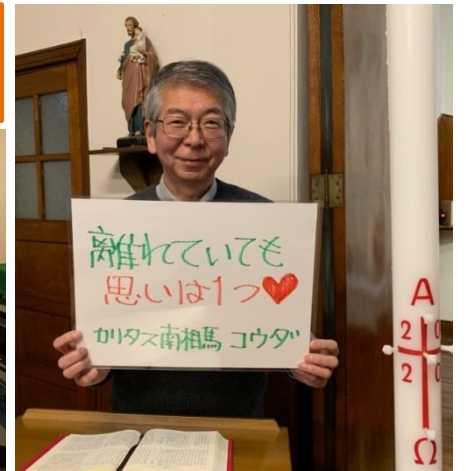
E-mail: info@caritasms.com

Fax 0244-26-8007

メッセージは、カリタス南相馬フェイスブックに随時掲載されております。

<https://www.facebook.com/caritas.minamisoma/>

カリタス南相馬からの 『エール』



※4月17日に募集が始まり、既に各地から写真メッセージが寄せられています。フェイスブックを見ない地元の方、特に高齢の方々には、第一弾としてこれまでの写真メッセージを印刷して、4月29日にポスティング予定です。

本来ならば戸別訪問を予定しておりましたが、南相馬市も感染危機があるため、しばらくはポスティングと電話での声かけを定期的に行うことを考えています。

カリタスジャパン

「新型コロナウイルス感染症緊急募金」受付開始

2019年末から世界中で猛威を奮っている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大に伴い、カリタスジャパンでは緊急支援募金を開始しました。お寄せいただいた募金は、国内外において、具体的に下記の範囲を重点対象として支援したいと考えています。

皆様の募金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 住まいの確保：感染から身を守るための家や衛生環境の整わない路上生活者や難民の方々、自粛規制により住む家を失った方々（ネットカフェ住民など）
2. 食糧衣料の確保：雇止めや解雇、倒産などによる生活困窮者への支援
3. 居場所の確保：DVなどにより安心して過ごす居場所のない方々（子どもたち）
4. 滞日外国人のケア：外国人労働者、技能実習生、難民申請者、入管被収容者など
5. 優先される方々へのサポート：高齢者、障がいをもった方々など、生活上のサポートが必要な方々
6. 情報の保証：言語、障がい、独居高齢者、外国人などの理由で情報にアクセスできない方々への情報の提供
7. 医療支援：医療物資が届かない医療機関への支援、風評被害対策など

※必要に応じて支援対象の範囲を変える場合がございます。

【募金受付口座】

郵便振替：00170-5-95979

加入者名：宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン

※記入欄に「新型コロナ緊急募金」と明記してください。